

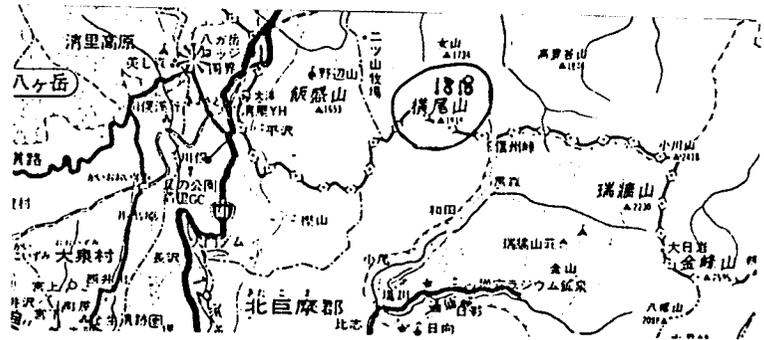
# 横尾山

1990年2月17日

天候 - 快晴

メンバー

梅原秀一(単独)



会社の旅行で、サイラーバレースキー場に行った。トニーサイラー設計のスキー場という点だけ、どこのどこの違うのかわからない。狭くて混雑するという噂なので、板付山スキーにし、シールも用意しておいた。果して9時頃には混雑著しくなったので

天気も良いことだし飯盛山にでもと、シールを付け30cm程の積雪の林道を登っていった。右下の次に美しいゴルフ場が続く。冬は人工雪、夏はゴルフで稼ぐのだ。右の次を越え、適当に尾根にとりつければ踏跡ぐらいいかと思っても藪がひどい。もっと南下して峠状の所から稜線づたいに登ると、飯盛山は無理らしい。そこで予定を、もっと手近な横尾山に変更。すぐ近くの南車にのびる尾根を辿れば山頂で、サイラーバレースキー場にも軽く下れる。

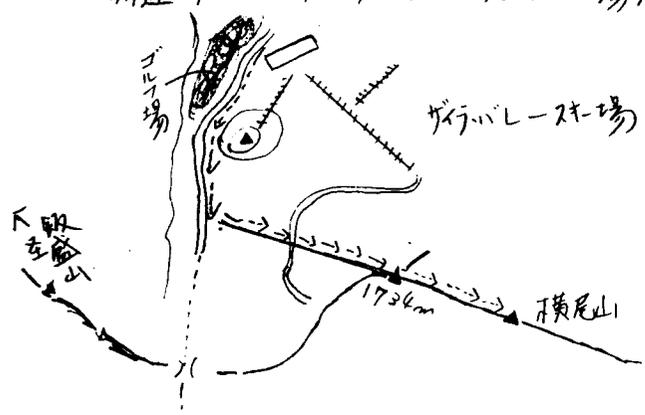
この尾根は始め藪だったから、スキー場中央からよってくる林道を越すと、そこから整備された登山道となった。1734mピークから痩せ尾根となり、円錐形の頂上が真近とれると積雪も50cm以上とあって、シール登高に苦労した。

山頂には簡単な櫓が組んであった。八ヶ岳、南アルプスと奥秩父と展望良好。静寂と昨夜の酒けやと流れたことで、実に爽やか。

1734mピーク迄、シールを付け滑降。道が狭いので仕方ない。そこから北方に滑ればスキー場だが、林が密なので断念。先程横切った林道は往路を下る。少しは滑ろうとシールをはずして滑ったが、岩が露出して危険なのでやめる。林道は、スイスイ滑降。スキー場まですぐであった。

もっとも人工雪に頼るスキー場しかないので、山スキーには不適だが、誰にも会わない静かな山行が出来た。

スキー場下駐車場 9:30 - 尾根取付点 10:00/10:30 - 林道 11:10 -  
1734mE-ク 11:40/11:50 - 横尾山 12:30/13:00 - 1734mE-ク 13:15/13:25  
- 林道 14:00 - ガイラバレースキー場 14:20



(指原記)